

時 期	4月～11月	時 間	半日程度
難易度	★★☆	対 象	どなたでも



大だらい(OD)



<活動の概要>

大だらいは、バランスが取りにくく不安定な乗り物ですが、仲間と息を合わせ漕ぐことにより、スムーズに進むようになります。活動エリアや定員を守って、安全で楽しい活動を繰り広げましょう。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

活動のねらい

- 大だらい漕法の基本を体験する。
- 海にチャレンジする楽しさを味わう。
- 海的美しさ・素晴らしさを実感し、海から見た風景など若狭湾の自然を感じる。
- 活動エリアや定員などのルールを守り、安全に対する意識を高める。

準備物

自然の家で準備しているもの【場 所】			団体で準備するもの
大だらい(1艇2人乗り)	2艇	【ピロティ】	活動に適した服装 ぬれてもよい服装 水着(夏季)
木製パドル(1人1本)	40本	【ピロティ】	
大だらい用ディンギーランチ(台車)	2台	【ピロティ】	
ライフジャケット(小・大)	300着	【ライフジャケット置場】	タオル
無線機	1台	【事務室】	帽子 かかるとがとまるサンダル (もしくはぬれてもよい運動靴)



大だらい



木製パドル



大だらい用
ディンギーランチ(台車)



ライフジャケット(左:小, 右:大)



無線機

手順

活動前

- 活動前に「ボート類活動計画書」を事務室まで提出してください。
- 無線を1台貸し出します。
- 参加者の健康状態や持ち物を確認してください。
- 着替えは「宿泊棟」で行ってください。

活動中

- 必ずライフジャケットを着用して、活動してください。
- ボートエリアの水域で、活動してください。
- 利用者の事故防止のため、定員内で活動してください。
- 立ち漕ぎは非常に危険ですので、座って行ってください。
- 使っていない大だらいは、流されないように波打ち際から離して置いてください。
- 適度に、休憩をしましょう。
- 緊急事態が起きたときは、無線で事務室に連絡してください。

活動後

- 参加者の人数や健康状態を確認してください。
- 使用した大だらい、パドル、ライフジャケットなど協力して片付けましょう。
- 海水に浸かったライフジャケットは、水洗いをしましょう。
- 使い終わったライフジャケットは、ファスナー・バックルを締めてハンガーにかけてください。
- 館内に入る時は、水気をよくふき取り、砂を払い落として館内に入りましょう。
- 濡れたままや水着のみで館内を歩かないようよろしくお願いします。

ふりかえりの視点

- 海でどんなことを感じましたか？活動を通して感じたことを共有しましょう。
- どんなことに気をつけながら活動を進めましたか？安全に気をつけることができた点については共有しましょう。

指導上の留意点

- 危険が予想される場合は、当施設職員の判断により活動を中止することがあります。
- ライフジャケットを着用したまま、故意に泳がないでください。
- 大だらいを運ぶ時は、転がさず、大だらい専用のディングーランチ(台車)で運んでください。

活動エリア・海の活動物品保管場所

トビーのライフジャケット講座

- ☆ ライフジャケットは前のファスナーとバックルをしっかりとめよう！
- ☆ ライフジャケットを着て、海に入って泳いではいけませんよ！
- ☆ ライフジャケットが海水でぬれてしまったら真水で洗おう。(団体旗用掲揚台の両脇にホースがあるよ)
- ☆ ライフジャケットを使い終わったら、元通りファスナーとバックルを締めてハンガーにかけておいてね！



これより沖に出ないこと！



ライフジャケット
【ライフジャケット置場】



ピロティ

木製パドル
【ピロティ】

無線
【自然の家事務局】

大だらい
【ピロティ】



大だらい用ディンギーランチ(台車)
【ピロティ】

